

たつの市定例記者会見資料	
発表年月日	令和8年8月3日（月）
担 当 課	教育事業部歴史文化財課 龍野歴史文化資料館
電 話	0791-63-0907

報道機関各位

旧家で新発見 羽柴秀吉の朱印状

このたび、たつの市内の旧家から、羽柴秀吉から脇坂安治に宛てた朱印状2点が新たに発見されました。

たつの市では約10年にわたり豊臣（羽柴）秀吉関連史料の発見・確認が相次いでいます。これは、龍野が脇坂安治ゆかりの地であり、秀吉との深い歴史的つながりを持つことを改めて示すものです。

今回発見された朱印状が書かれた天正12年（1584年）は、秀吉が天下統一を果たす前段階の重要な時期であり、一次史料として高い学術的価値を持すものです。また、秀吉が朱印を本格的に使用し始めた時期としても注目されていることから、最新の研究潮流を補完・裏付ける上でも重要な資料です。

記

1 新発見の羽柴秀吉朱印状

別紙1のとおり

2 一般公開

たつの市立龍野歴史文化資料館秋期企画展「龍野で出会う名品～未来へ伝える文化財～」にて公開（会期：10月24日（土）～11月29日（日））

3 報道対応について

ア 取材対応日

日時：8月3日（月）13時～16時、4日（火）9時～16時

場所：龍野歴史文化資料館 図書室

イ 取材先

・村井祐樹氏（東京大学史料編纂所 准教授） 電話：03-5841-5974

・前田徹氏（兵庫県立歴史博物館 学芸員） 電話：079-288-9011 ※月曜日休館

※メールでお問い合わせを希望される場合は、アドレスを別途お伝えします。

※この度の史料解説、翻刻について両氏に作成いただき、ご指導を受けました。

ウ 報道解禁日

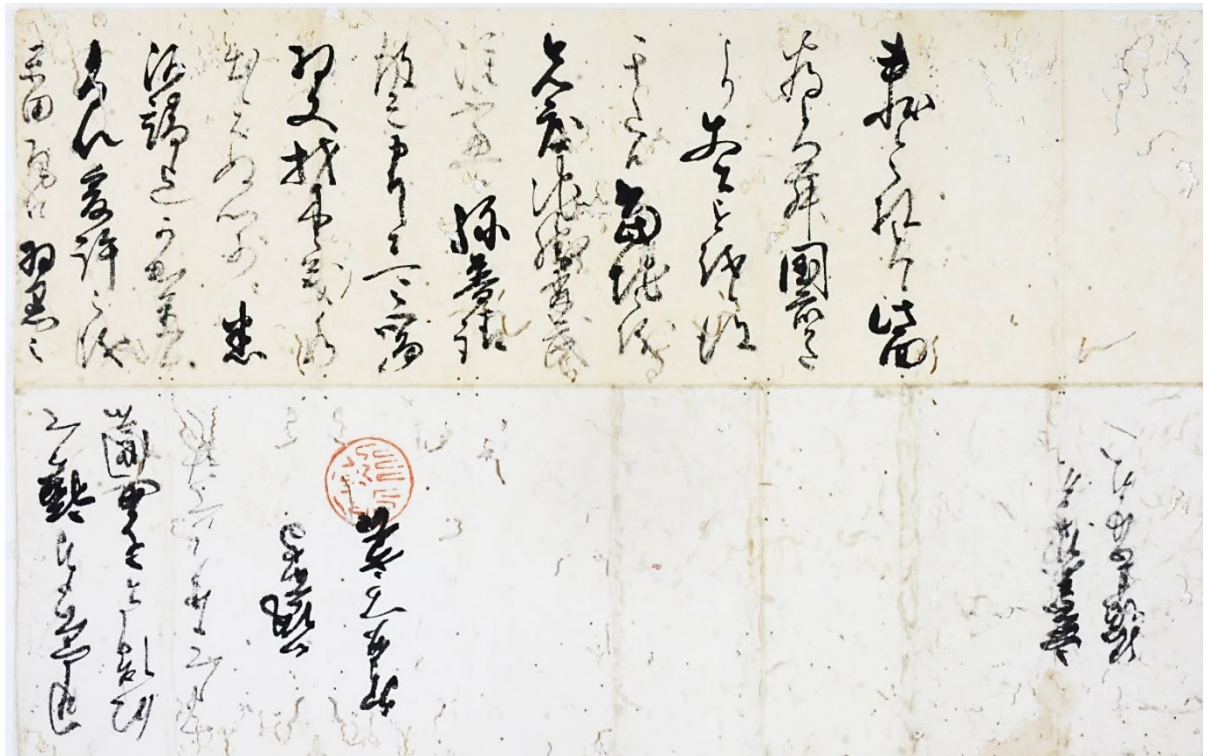
テレビ・インターネット 8月4日（火）17時から

新聞等 8月5日（水）朝刊から

新発見の羽柴秀吉朱印状

(1) 羽柴秀吉朱印状 (天正12年)卯月21日 折紙 31.5×49.5

4月9日の長久手での敗戦後に、脇坂安治・山岡景隆から送られてきた陣中見舞いへの返書。



書状令披見候、此面
為見舞、国衆かた
より使者を越候、得
其意候、当地之儀
先度池勝・森武
雖不慮候、弥普請
彼是申付候間、可被心易候、
将又、材木之義、水
出候はぬ以前二悉
河端迄可出置候、
尚以、爰許之儀、
楽田・尾口・羽黒之
用害申付、廳而可
明隙候間、其通国衆
へも可申聞候、恐々謹言、

筑前守

卯月廿一日秀吉(朱印)

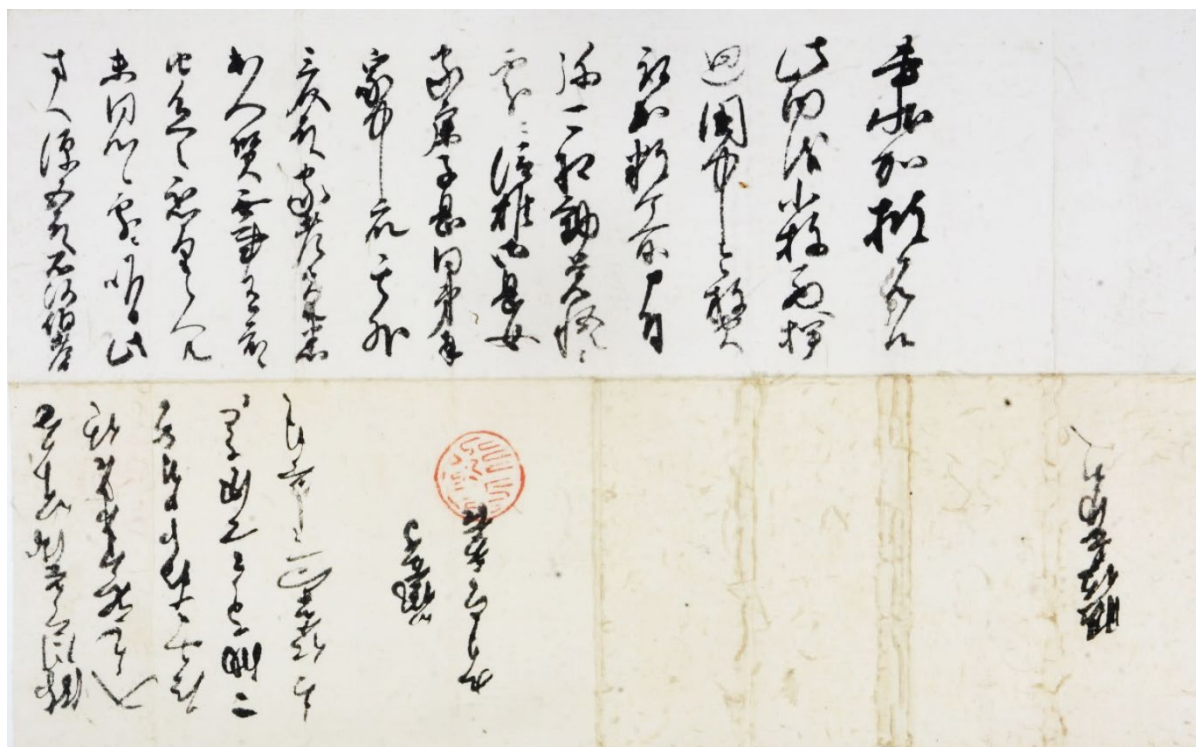
山岡美作守殿
脇坂甚内殿

池田恒興(勝入斎)と森長可(武蔵守)の討死があったが、陣地の普請を固めているので心配するな、伊賀の材木は河端まで出しておけ、楽田(犬山市)・尾口(小口、大口町)・羽黒(犬山市)に要害を作らせている。やがて手が空くだろうから伊賀の国衆にそのように伝えておけ。

(2) 羽柴秀吉朱印状 (天正12年)9月6日 折紙 31.5×50.5

同じく小牧長久手の戦いの中での脇坂安治への返書。

龍野神社旧蔵文書の9月17日付け朱印状の前段階の書状。



書状加披見候、
此面儀、小牧西へ押
廻、國中令放火、
取出数ヶ所申付、
弥可相動覚悟候
処二、信雄御息女・
家康子息・同弟、并
家中衆、其外
三介殿家老者共、悉
出人質、無事有度之
由、色々懇望候へ共、
未同心候処二、昨日此
方へ源五殿・石河伯耆・
瀧川三郎兵衛以下懸
入候て、懇望半候、何之
道にも存分申付、近日
可納馬候間、可得其意候、
猶仁右衛門尉可申候、恐々謹言、
筑前守
九月六日秀吉(朱印)

脇坂甚内殿

小牧(小牧市)の西へ押し廻り、国中に放火し、砦を数か所作らせて、さらに戦おうと思っていたら、信雄・家康から人質を出すのでと和議が申し込まれた。同意しないでいたところ、さらに源五殿(織田長益)、石川伯耆(数正)、滝川三郎兵衛(雄利)まで人質を出すと言ってきているので、近日納馬するだろう。

(補足)

※ 近年の研究では小牧長久手合戦は「もう一つの天下分け目の戦い」として再定義している研究者がいるように、従来の「家康側の勝利」という通説に対して再評価がされ、歴史的評価が見直されています。

(参考)

・発見の経緯

令和8年5月に龍野城下の旧家から脇坂家関係の資料があるから一度見てほしいと連絡があり歴史文化資料館職員が訪問。拝見した資料は、赤穂城請取の行列図(額装)で貴重な資料であった。確認作業をしていた床の間に額入で2通の折紙の文書が飾られており、職員が秀吉の朱印と確信し、その場で熟覧し借用した。

現所有者の方の記憶によると小学生のときからあったように思うとのこと。額背面に龍野神社宮司から譲り受けた証明書が同封されていた。

・地域の歴史の奥深さを実感する新発見

発見された旧家は龍野城の目の前に位置する龍野藩士・松原藤右衛門の子孫宅であり、家に伝わる品々を整理される中での連絡がきっかけとなった。秀吉書状2通に加え、赤穂城請取行列図や松原藤右衛門の甲冑図など、当市にとって貴重な資料が複数確認されたことも特筆に値する。

【参考 赤穂城請取行列図】 乗馬の人物が松原藤右衛門



また、旧家とはいえ、一般の住宅から秀吉書状が2通発見されたという事実は、神社の旧蔵文書とは異なり、今後も歴史史料の発見が期待できる。

龍野城下町は、江戸時代から約200年にわたり脇坂氏が治めた城下町である。国の重要伝統的建造物群保存地区にも選定された地域において今回の発見は、その城下町の文化度の高さを改めて証明するものといえる。地域の歴史の奥深さを改めて実感させる思わぬ発見であった。

・近年、龍野で相次ぐ豊臣（羽柴）秀吉史料の発見

年	内容
2014年	龍野神社旧蔵文書の購入を発表
2016年2月	特別展「秀吉からのたより」開催。『脇坂家文書集成』刊行
2017年3月	脇坂安治・安元関係資料一括(123点)をたつの市指定文化財に指定
2021年	龍野藩旧藩士宅より垣屋孫市宛て秀吉書状2通発見
2022年	市内の旧家から秀吉が安治にあてた書状1通発見
2024年	上記書状1通をたつの市指定文化財に追加指定
2026年	城下町の龍野藩旧藩士宅より脇坂甚内宛て秀吉書状2通発見

龍野歴史文化資料館所蔵・寄託 脇坂家所蔵 豊臣(羽柴)秀吉文書

*太字新発見資料

No.	名称	数量	年代	差出人・作者	宛先	形態	法量(タテ×ヨコ)	所蔵	指定有無
1	羽柴秀吉判物	1	(天正10(1582)年) 3月21日	筑前守秀吉	脇坂甚内	折紙	32.4×50.7	館蔵	市指定
2	羽柴秀吉判物	1	天正10年6月7日	秀吉	きさへもん	紙本 一幅	25.2×21.8	個人蔵・寄託	市指定
3	羽柴秀吉書状	1	(天正11年) 閏正月29日	筑前守	脇坂甚内・森兵吉(重政)・か藤虎介(清正)	一幅 折紙	30.4×47.2	個人蔵・寄託	市指定
4	羽柴秀吉判物(柳ヶ瀬感状)	1	天正11年6月5日	秀吉花押	脇坂甚内	一卷モ ト折紙	15.9×47.9	個人蔵	
5	垣屋孫一宛領知宛行状	1	天正11年8月1日	秀吉花押	垣屋孫一	折紙	31.5×50.0	館蔵	
6	羽柴秀吉朱印状	1	(天正12年)卯月21日	筑前守秀吉	山岡美作守 脇坂甚内	折紙	31.5×49.5	個人蔵	
7	羽柴秀吉朱印状	1	(天正12年) 6月6日	筑前守秀吉	山岡美作守 脇坂甚内	折紙	28.9×45.0	館蔵	市指定
8	羽柴秀吉朱印状	1	(天正12年)8月3日	筑前守秀吉	脇坂甚内 山岡美作守	折紙	30.6×48.8	個人蔵・寄託	追加市指定
9	羽柴秀吉朱印状	1	(天正12年)9月6日	筑前守秀吉	脇坂甚内	折紙	31.5×50.5	個人蔵	
10	羽柴秀吉朱印状	1	(天正12年)9月17日	筑前守秀吉	脇坂甚内	折紙	31.5×50.2	館蔵	市指定
11	羽柴秀吉朱印状(伊賀状二)	1	(天正12年)10月28日	秀吉朱印	脇坂甚内	一卷モ ト折紙	15.1×96.52	個人蔵	
12	羽柴秀吉朱印状(伊賀状三)	1	(天正12年)11月3日	秀吉朱印	脇坂甚内	一卷モ ト折紙	15.5×48.5	個人蔵	
13	羽柴秀吉朱印状	1	(天正12)年) 11月6日	秀吉朱印	脇坂甚内	折紙	30.6×50.0	館蔵	市指定
14	羽柴秀吉朱印状	1	(天正12年) 11月12日	秀吉朱印	脇坂甚内	折紙	31.8×49.6	館蔵	市指定
15	羽柴秀吉朱印状	1	(天正13年) 正月19日	秀吉朱印	脇坂甚内	折紙	31.1×49.8	館蔵	市指定
16	羽柴秀吉朱印状	1	(天正13年)3月21日	羽柴秀吉	脇坂甚内	折紙	32.0×50.7	館蔵	市指定
17	羽柴秀吉朱印状	1	(天正13年)7月2日	秀吉朱印	脇坂甚内	折紙	32.0×50.2	館蔵	市指定
18	羽柴秀吉朱印状	1	(天正13年)7月6日	秀吉朱印	脇坂甚内	折紙	31.8×50.5	館蔵	市指定
19	羽柴秀吉朱印状	1	(天正13年)7月25日	(秀吉)朱印	脇坂甚内	折紙	31.6×50.6	館蔵	市指定
20	羽柴秀吉朱印状	1	(天正13年)8月12日	(秀吉)朱印	脇坂甚内	折紙	32.4×50.6	館蔵	市指定
21	羽柴秀吉朱印状	1	(天正13年)8月18日	(秀吉)朱印	脇坂甚内	折紙	32.3×50.5	館蔵	市指定

龍野歴史文化資料館所蔵・寄託 脇坂家所蔵 豊臣(羽柴)秀吉文書

*太字新発見資料

No.	名称	数量	年代	差出人・作者	宛先	形態	法量(タテ×ヨコ)	所蔵	指定有無
22	羽柴秀吉朱印状	1	(天正13年)8月25日	(秀吉)朱印	脇坂甚内	折紙	32.0×50.2	館蔵	市指定
23	羽柴秀吉朱印状	1	(天正13年)8月27日	(秀吉)朱印	脇坂甚内	折紙	31.4×50.5	館蔵	市指定
24	羽柴秀吉朱印状	1	(天正13年) 壬8月7日	(秀吉)朱印	脇坂甚内	折紙	29.6×47.0	館蔵	市指定
25	羽柴秀吉朱印状	1	(天正13年) 壬8月9日	(秀吉)朱印	増田甚右衛門尉 脇坂甚内	折紙	32.4×50.7	館蔵	市指定
26	羽柴秀吉朱印状	1	(天正13年) 壬8月12日	(秀吉)朱印	増田甚右衛門尉 脇坂甚内	折紙	29.7×46.9	館蔵	市指定
27	羽柴秀吉朱印状	1	(天正13年) 閏8月12日	(秀吉)朱印	増田甚右衛門尉 脇坂甚内	折紙	30.7×45.7	館蔵	市指定
28	羽柴秀吉朱印状	1	(天正13年) 壬8月13日	(秀吉)朱印	脇坂甚内	折紙	31.7×50.3	館蔵	市指定
29	羽柴秀吉朱印状	1	(天正13年) 壬8月22日	(秀吉)朱印	脇坂甚内	折紙	32.3×50.2	館蔵	市指定
30	羽柴秀吉判物	1	(天正13年)9月朔日	(秀吉)花押	脇坂甚内	折紙	32.2×50.5	館蔵	市指定
31	淡路国指出寄帳	2	天正13年9月10日	(秀吉)朱印	脇坂甚内	冊	27.8×42.0	館蔵	県指定
32	羽柴秀吉朱印状	1	天正13年12月朔日	(秀吉)朱印	脇坂甚内	折紙	31.8×50.1	館蔵	市指定
33	羽柴秀吉朱印状	1	(天正14(1586)年) 2月14日	(秀吉)朱印	脇坂中務少輔 加藤左馬助	折紙	32.0×50.4	館蔵	市指定
34	羽柴秀吉朱印状	1	(天正14年)8月15日	(秀吉)朱印	脇坂中務少輔	折紙	32.0×50.7	館蔵	市指定
35	羽柴秀吉朱印状	1	(天正14年)8月26日	(秀吉)朱印	脇坂中務少輔 加藤左馬助	折紙	32.0×49.7	館蔵	市指定
36	羽柴秀吉朱印状	1	(天正14年) 10月17日	(秀吉)朱印	脇坂中務少輔	折紙	31.6×50.2	館蔵	市指定
37	羽柴秀吉判物	1	天正14年11月3日	(秀吉)花押	脇坂中務少輔	折紙	31.4×49.8	個人蔵	市指定
38	あわちの国わきさか 中務知行目録	1冊	天正14年11月3日	(秀吉)朱印	脇坂中務少輔	縦帳	29.8×22.0	個人蔵・寄託	市指定
39	あわちの国御くら入も くろく	1冊	天正14年11月3日	(秀吉)朱印	脇坂中務少輔	縦帳	29.8×22.0	個人蔵・寄託	市指定
40	豊臣秀吉朱印状(豊 後状四)	1	(天正14年)12月22日	(秀吉)朱印	脇坂中務少輔	一卷モノ 折紙	15.8×99.8	個人蔵	
41	豊臣秀吉朱印状	1	(天正14年) 12月23日	秀吉(朱印)	脇坂中務少輔	折紙	32.3×49.9	館蔵	市指定
42	豊臣秀吉朱印状(豊 前状五)	1	(天正15年)2月14日	秀吉(朱印)	脇坂中務少輔	一卷モノ 折紙	15.8×85.7	個人蔵	

龍野歴史文化資料館所蔵・寄託 脇坂家所蔵 豊臣(羽柴)秀吉文書

*太字新発見資料

No.	名称	数量	年代	差出人・作者	宛先	形態	法量(タテ×ヨコ)	所蔵	指定有無
43	豊臣秀吉朱印状(写)	1	(天正15年)3月6日	秀吉(朱印)	蜂須賀阿波守・脇坂中務少輔・加藤左馬助	折紙	35.8×53.0	館蔵	市指定
44	豊臣秀吉朱印状	1	(天正15年)3月24日	(秀吉)朱印	脇坂中務少輔 加藤左馬助	折紙	31.9×49.8	館蔵	市指定
45	豊臣秀吉朱印状	1	(天正15年) 卯月27日	(秀吉)朱印	九鬼大隅守・脇坂中務少輔・加藤左馬助・小西日向守	折紙	32.4×50.0	館蔵	市指定
46	豊臣秀吉朱印状(遠州今切状六)	1	(天正18年)2月晦日□	(秀吉)朱印	脇坂中務少輔	一卷モノ折紙	22.5×63.1	個人蔵	
47	豊臣秀吉朱印状(遠州清水状七)		(天正18年)3月4日	(秀吉)朱印	脇坂中務少輔	一卷モノ折紙	23.0×64.9	個人蔵	
48	豊臣秀吉朱印状	1	(天正20年) 卯月16日	(秀吉)朱印	脇坂中務少輔	折紙	45.5×65.1	館蔵	市指定
49	豊臣秀吉朱印状	1	(天正20年)卯月19日	(秀吉)朱印	脇坂中務少輔	折紙	45.8×64.6	館蔵	市指定
50	豊臣秀次朱印状	1	(天正20年)5月朔日	秀次(朱印)	脇坂中務少輔	折紙	46.2×64.5	館蔵	市指定
51	豊臣秀吉朱印状	1	(天正20年)6月9日	秀吉(朱印)	脇坂中務少輔	折紙	44.7×64.6	館蔵	市指定
52	豊臣秀吉朱印状(朝鮮状八)	1	(天正20年)6月23日□	秀吉(朱印)	脇坂中務少輔	一卷モノ折紙	22.5×127.5	個人蔵	
53	豊臣秀吉朱印状(朝鮮状九)	1	(天正20年)7月14日□	秀吉(朱印)	脇坂中務少輔	一卷モノ折紙	22.5×127.5	個人蔵	
54	豊臣秀吉朱印状	1	(天正20年)7月21日	秀吉(朱印)	脇坂中務少輔	折紙	46.2×65.5	館蔵	市指定
55	豊臣秀吉朱印状(朝鮮状十一)	1	(天正20年)11月10日	秀吉(朱印)	脇坂中務少輔	一卷モノ折紙	22.7×118.9	館蔵	
56	豊臣秀吉朱印状	1	(文禄2年)2月12日	秀吉(朱印)	脇坂中務少輔	折紙	46.5×64.0	館蔵	市指定
57	豊臣秀吉朱印状(写)	1	(文禄2・1593年) 後9月26日	(秀吉)朱印	加藤左馬助・脇坂中務少輔・菅平右衛門・来嶋助兵衛	折紙	52.1×64.7	館蔵	市指定
58	豊臣秀吉朱印状	1	文禄3年10月17日	(秀吉)朱印	垣屋孫市	折紙	46.4×65.6	館蔵	
59	豊臣秀吉朱印状	1	(文禄4年カ) 正月22日	(秀吉)朱印	脇坂中務少輔・加藤左馬助・九鬼大隅守・菅平右衛門	折紙	45.7×63.8	館蔵	市指定
60	豊臣秀吉朱印状	1	(文禄4年カ) 正月28日	(秀吉)朱印	脇坂中務少輔	折紙	46.4×66.2	館蔵	市指定
61	豊臣秀吉朱印状	1	9月朔日	(秀吉)朱印	脇坂中務少輔	折紙	44.9×67.5	館蔵	市指定
62	豊臣秀吉朱印状	1	12月3日	(秀吉)朱印	脇坂中務少輔	折紙	46.8×66.7	館蔵	市指定
63	豊臣秀吉朱印状	1	12月■4日	(秀吉)朱印	脇坂中務少輔	折紙	46.4×65.7	館蔵	市指定
64	豊臣秀吉朱印状(朝鮮状十三)	1	慶長3年6月22日□	(秀吉)朱印	脇坂中務少輔	一卷モノ折紙	21.6×62.8	館蔵	